

(共催 学校臨床研究会・「非行・メンタルヘルスの包括的アセスメントツールの開発」プロジェクト)

学校現場における新しいツールの活用

日時 2006年5月27日(土) 15:00~17:00

場所 お茶の水女子大学生生活科学部本館210

(丸の内線茗荷谷駅より徒歩7分、有楽町線護国寺駅より徒歩8分)

今回は、アメリカのスクールカウンセリング分野で活躍されているゲスト・スピーカーをお招きし、アメリカのスクールカウンセラーの現状をお聞きしたうえで、「MEASURE」という新しいツールを用いたスクールカウンセリングの展開についてお話いただきます。さらに、お茶大側からの発表「メンタルヘルス・非行ノ学級風土の包括的アセスメント・ツール」(発表 青木紀久代・伊藤亜矢子)についても、ゲストの先生方にコメントを頂戴する予定です。

ゲスト・スピーカーは、米国スクールカウンセリング協会次期会長Carolyn Stone教授(ノースフロリダ大学)と、その共同研究者であるCarol A.Dahir博士(ニューヨーク工科大学)です。同じく共同研究者の瀬戸博士(ニュージャージー大学)が、通訳などサポートしていただきます。先生方は、「MEASURE」というスクールカウンセリングの評価方法を開発しておられます。

.....小講演

Carolyn Stone氏

ノースフロリダ大学 教授

米国スクールカウンセリング協会次期会長

「米国におけるスクールカウンセリングの現状」

.....小講演

Carol A.Dahir氏

ニューヨーク工科大学

「スクールカウンセリングにおけるMEASUREの活用」

.....小講演

青木紀久代・伊藤亜矢子

お茶の水女子大学助教授・お茶の水女子大学助教授

「学校現場での包括的アセスメントツールの活用」

司会・コメント 伊藤亜矢子 お茶の水女子大学生生活科学部助教授
通訳 瀬戸淳子 ニュージャージー大学

資料代 500円

共催 お茶の水女子大学 学校臨床研究会

問い合わせ・申し込み先(メールでお願いします)

学校臨床研究会 yumetani0514@yahoo.co.jp

当日参加歓迎